



樹 幼 だ よ り

<https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

一明照学園(認)樹徳幼稚園

令和7年11月14日(第22号)



14日に千歳飴を配って七五三のお祝い

子どもが大病もせず元気に育つことは、親にとって大きな喜びです。七五三の由来は諸説ありますが、平安時代の頃から宮中で行われていた儀式が基になって、3歳、5歳、7歳の節目に成長を神様に感謝し、お祝いしたことから始まったとされています。

本日、自分たちで作製した袋に、紅白の千歳飴を入れて持ち帰りました。千歳飴が長いのは、元気で長生きできますようにという願いが込められています。

お誕生日おめでとう～第3回「お誕生会」を開く 11/7(金)



この度、10月・11月・12月生まれの園児のお誕生会を開催しました。今回のお誕生会の主役は、11名でした。みんなで歌を歌ったり、主役の子どもたちにインタビューをしたりして、全員でお祝いしました。

インタビューでは、主役にボールのくじを引いてもらいそれにかかれた「好きな食べ物」「好きな遊び」「好きな色」「大きくなったら何になりたい」などの質問に答えてもらいました。

その後、みんなで歌ったり、ダンスをしたりしてお誕生会が盛り上がりました。

たけ組	...	細井 周くん、仲村優里さん、高橋かおるさん、 小林功季くん、菅原柊兵くん
さくら組	...	佐久間竣士くん、山岸丈和くん
もも組	...	樋口 蓮くん
すみれ組	...	齋川友吾くん
ひよこ組	...	瀬谷絵叶さん、佐久間月望さん

11名



秋の味覚を楽しんだ「焼き芋会」 11/13(木)



たけ組の子どもたちが5月に植えたさつま芋の苗が大きく成長し、地面の中には大きなさつま芋が育ちました。11月5日(水)に、それを子どもたち全員で収穫しました。それから1週間、二人の運転手さんがお芋をきれいに洗ったり、焼くための小枝を集めてくれたりして焼き芋会の準備をしてくださいました。そして、楽しみにしていた焼き芋会当日を迎えます。

当日、運転手さんが事前にさつまいもをアルミホイルで包んでおいてくれたものを、園児一人一人が大量の枯れ枝を燃やして準備しておいた熾火の中に投げ入れます。待つこと50分、ほくほくに程よく焼けたさつま芋が子どもたちに配られました。今年は、例年より大きめのおいもだったために、焼けるのに時間がかかりましたが、とてもおいしそうにできあがった熱々のおいもをほおばりながら、「おいしい」とニコニコ顔です。誰もが秋の収穫に満足した「焼き芋会」となりました。